

学校だより 6月号



赤見っ子

赤見台第一小学校 令和3年5月31日(月)
鴻巣市赤見台4-19-1 TEL 048-596-1688
<http://aka1-e.konosu.edumap.jp> FAX 048-597-0265

学校教育目標

(あ) 明るいいで 助け合う子
(か) 体も心も たくましい子
(み) 自ら学ぶ かしこい子
～テキパキにこにこ赤見っ子～

思いを行動に表す！ 勇気をもって

校長 大澤 紀子

校庭の芝生の緑が、色鮮やかになってきました。梅雨の季節が近づいてきましたが、校庭では、元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られます。

さて、6月の全校朝会では、「思いを行動に表す」ということについて話をします。自分で考えたことや気づいたことはいろいろあるけれど、行動に表すことは難しいことです。

5月には、JRC登録式を行いました。「JRC」とは、「Junior Red Cross」の略で、青少年赤十字のことです。赤見っ子は全員JRCに登録し、JRC委員会を中心に活動をしていきます。JRCの態度目標は、「気づき」「考え」「実行する」です。この目標について少し考えてみたいと思います。

例えば、道路にゴミが落ちていた時に、「あっ、ゴミが落ちている。」と気づくことは、誰にでもできます。その後、どう考えるかです。「ゴミは拾った方がいいな。」と考えるか、「そのまま構わない。」と考えるかで次の行動が変わります。さらに、「拾った方がよい」と思っても、実際に「ゴミを拾う」という行動ができるか、ということが重要になります。いじめに気づいたら、いじめをやめさせるような行動ができるかということです。

私たちは、普段の生活の中で、「こうした方がよいだろう」と気づくことはあるけれど、行動に移すにはかなり勇気が必要です。見て見ぬふりをしてしまうこともあるかもしれません。でも、どんなに良いことを考えていても行動で表さなければ、それは周りの人へは伝わりません。もしもその行動が、いじめや命にかかわるようなことだったら、「こうしておけば良かった」では取り返しがつきません。

自分の思いや考えは、勇気をもって行動に表しましょう。子どもたちには、「やった方がよい」「正しい」と気づいたことには、勇気をもって、自分から行動できる人になってほしいと願っています。私たち教員も子どもたちに範を示せるよう行動していきたいと思います。

【子どもたちの学校生活を支えてくださる方々】

赤一小は、たくさんの地域の方々に支えていただいています。「芝生を育てる会」の皆様も、赤一小を支えてくださる大きな力のひとつです。今年度も子どもたちが元気に芝生の上を走り回れるよう、春から芝生の管理を進めてくださっています。年間20回以上の芝刈りや草取りをしてくださいます。暑いなかでも一生懸命芝生の手入れをしてくださる姿には頭が下がります。

赤見っ子の健やかな成長のために力を尽くしてくださる皆様、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

